

市政だより

おおむら

財 政 事 情
説 明 書 号
特 別 号

大村市の財政状況

大村市告示 第 60 号

昭和61年度の決算状況と昭和62年度予算の上半期の執行状況を次のとおり公表します。

昭和62年12月1日

大村市長 松 本 崇

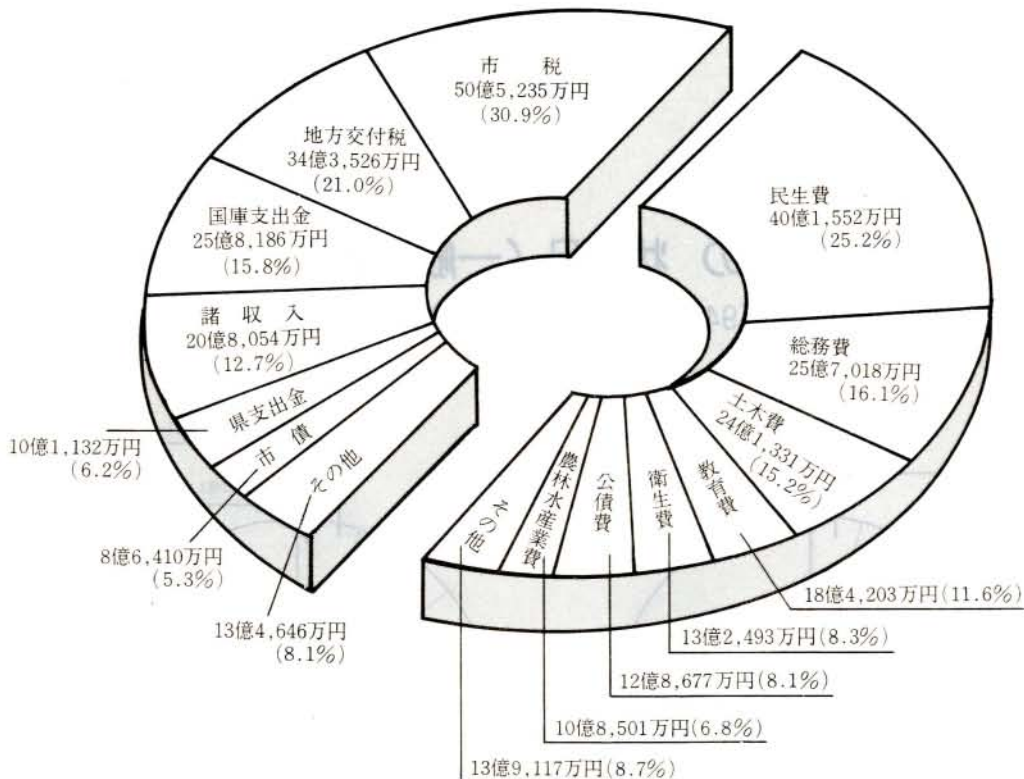
昭和61年度一般会計歳入歳出決算状況

歳 入

163億7,189万円

歳 出

159億2,892万円

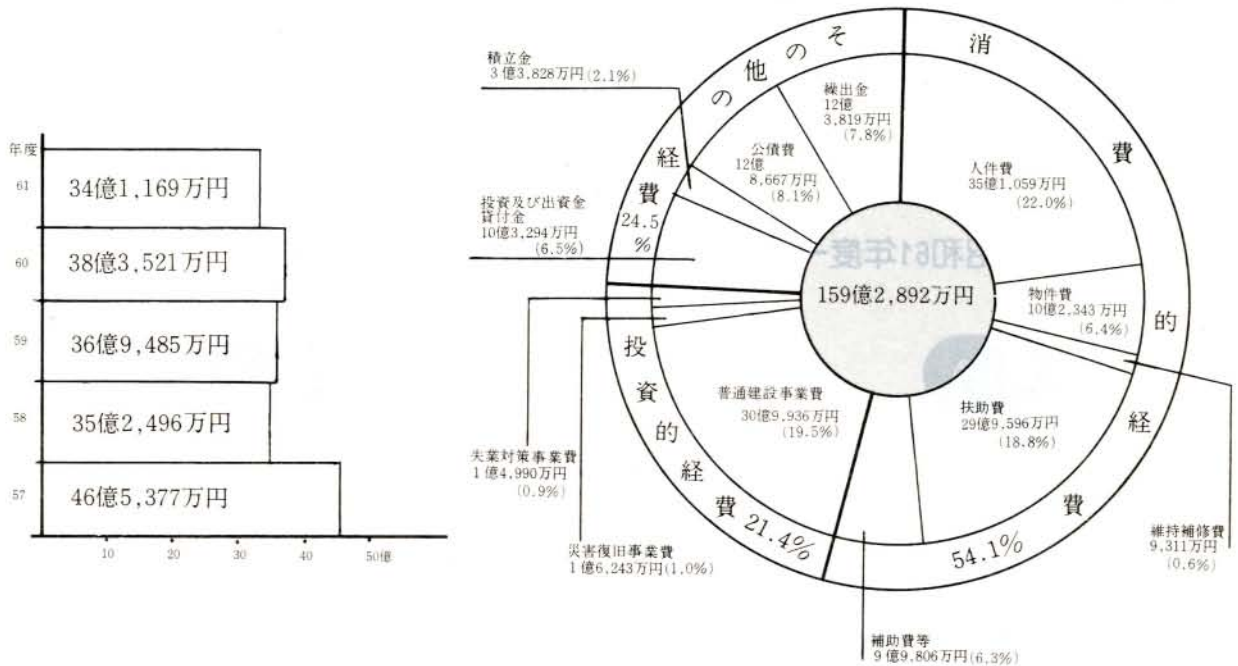


昭和61年度特別会計歳入歳出決算状況

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差 引
簡 易 水 道 事 業	2億7,971万円	2億 7,971万円	0
国 民 健 康 保 険 事 業	35億2,688万円	36億 979万円	△ 8,291万円
老 人 保 健 事 業	31億1,269万円	31億 1,002万円	267万円
公 共 下 水 道 事 業	25億6,247万円	25億 6,196万円	51万円

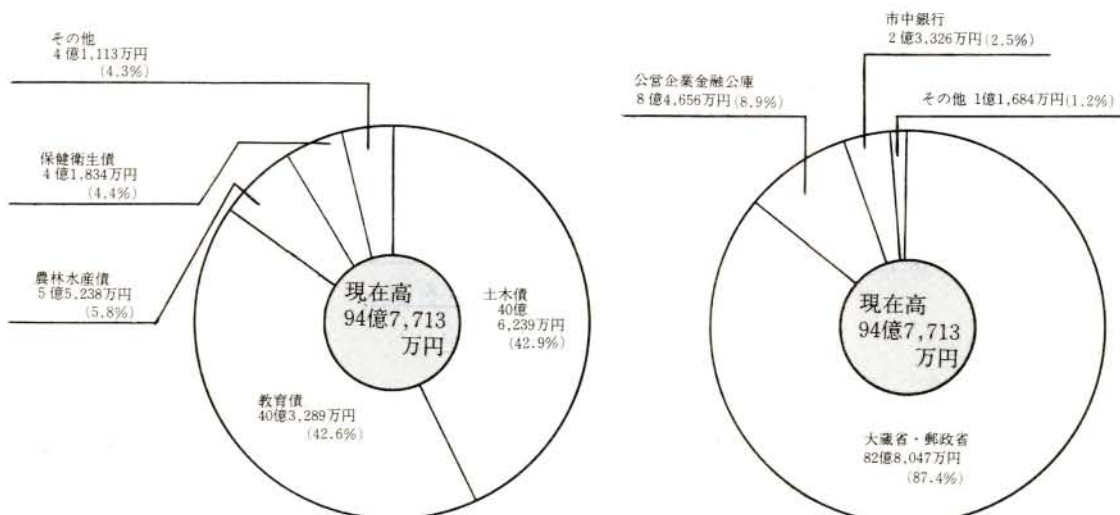
過去5ケ年の投資的経費
の比較（一般会計）

昭和61年度一般会計歳出決算性質別内訳



市債の状況（一般会計）

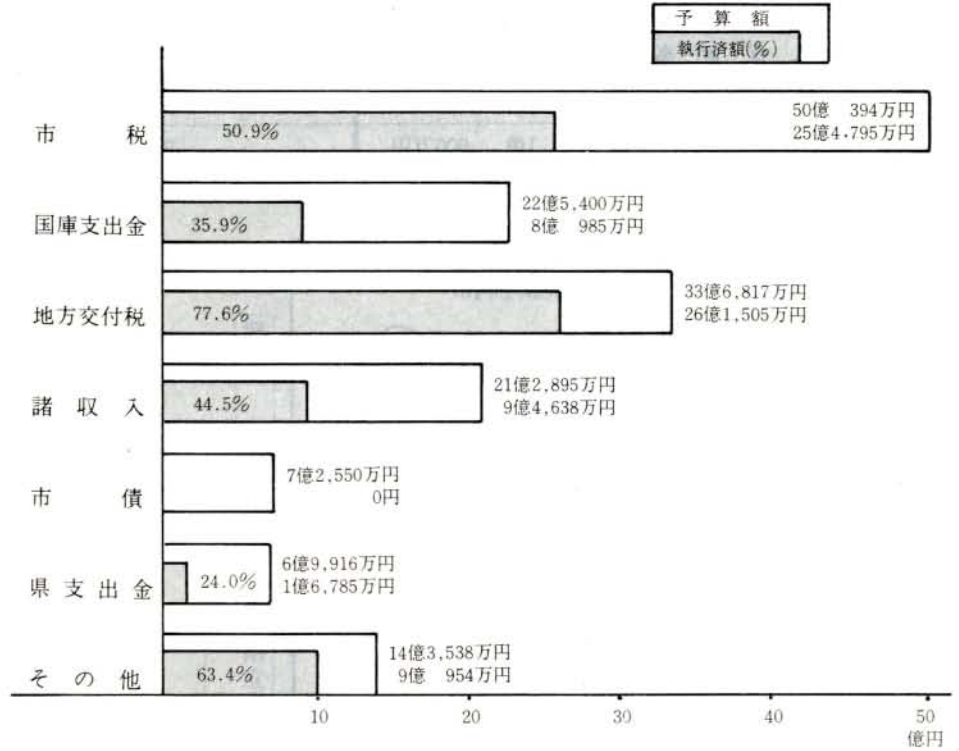
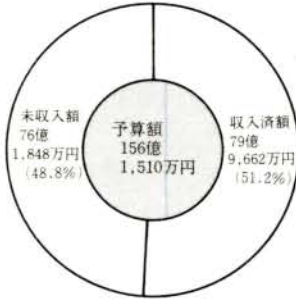
地方債現在高94億7,713万円（昭和61年度末現在）



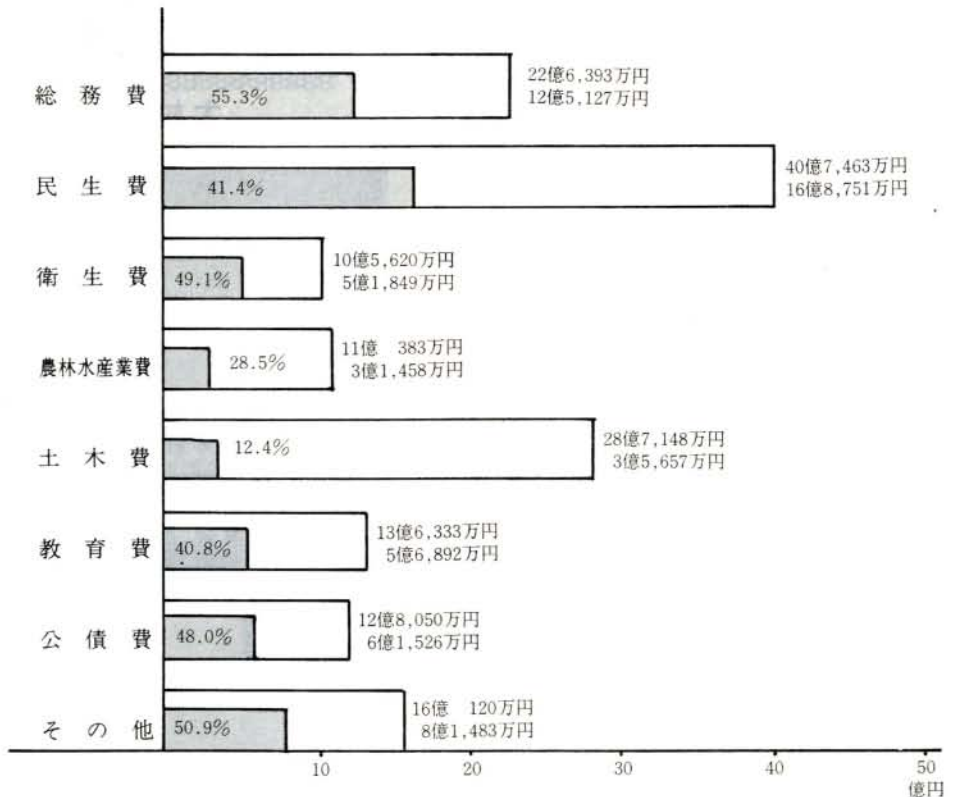
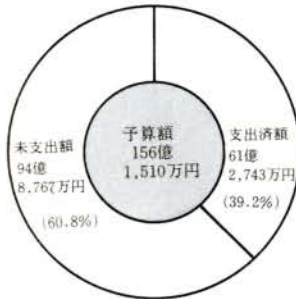
昭和62年度予算の執行状況 (昭和62年9月30日現在)

〔一般会計〕

歳入



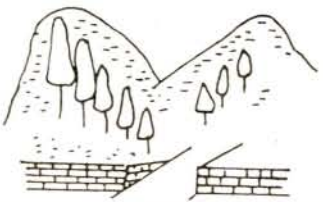
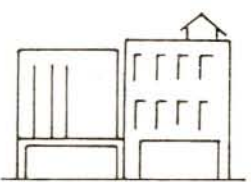


歳出



〔特別会計〕

会計名	予算額	収入済額	執行率(%)	支出済額	執行率(%)
簡易水道事業	6億 532万円	1,656万円	2.7	8,348万円	13.8
国民健康保険事業	39億 6,694万円	10億 6,915万円	27.0	14億 9,864万円	37.8
老人保健事業	31億 7,393万円	13億 3,656万円	42.1	14億 4,966万円	45.7
公共下水道事業	27億 8,657万円	3億 4,366万円	12.3	8億 9,834万円	32.2
公共用地先行取得事業	1億 600万円	0		10万円	0.1

財産の状況

土地・山林 7,983,264m ² 	建物 247,361m ² 
車 119台 	その他の基金・積立金 41億4,076万円 

今日の医療をとりまく環境は、高齢人口の増加、癌や循環器疾患を初めとする慢性疾患の増加等疾病構造の変化、医学・医療の進歩による医療の高度化・専門化の進展がみられる。そうした中で市民の健康管理の見地から、人間ドック・各種健康診断等予防医療の積極的な推進を行

(1) 事業の概要

市立病院

昭和62年度上半期の経理の状況は別表(2)のとおりですが、その概要は次のとおりです。

(2) 経理の状況

昭和62年度上半期の経理の状況は別表(2)のとおりですが、その概要は次のとおりです。

収益的収入	18億1939万円
収益的支出	15億6378万円
差引	2億5561万円
資本的収入	4987万円
資本的支出	4018万円
差引	969万円

業務状況等説明書

大村市告示第61号



桜が原中学校

別表(1) 入院・外来患者数調べ (人)

	入院患者延人員	外来患者延人員
4月	8,004	10,113
5月	8,064	10,872
6月	8,027	11,415
7月	8,128	11,571
8月	7,852	11,408
9月	7,504	11,374
計	47,579	66,753
一日平均	260.0	439.2
前年度比	100.5	106.5

昭和61年度の決算状況は次のとおりです。
 収益的収入 32億 609万円
 収益的支出 31億 682万円
 差引 972万円
 資本的収入 1億 972万円
 資本的支出 1億 117万円
 差引 855万円
 △1394万円

(4) 昭和61年度の決算状況

企業債及び一時借入金並びに長期借入金の状況は、別表(3)・(4)・(5)のとおりです。また、支払利息については次のとおりです。
 企業債利息 7204万円
 長期借入金利息 0万円
 一時借入金利息 400万円

(3) 企業債及び一時借入金並びに長期借入金現在高

別表(2) 経理の状況

区 分		予 算 額	予 算 執 行 額	予 算 執 行 率 (%)
収益的収入	第1款 病院事業収益	31億 8,503万円	18億 1,939万円	57.1
	第1項 医業収益	30億 946万円	16億 6,709万円	55.4
	第2項 医業外収益	1億 7,257万円	1億 5,020万円	87.0
	第3項 特別利益	300万円	210万円	70.0
収益的支出	第1款 病院事業費用	32億 6,820万円	15億 6,378万円	47.8
	第1項 医業費用	30億 8,952万円	14億 8,622万円	48.1
	第2項 医業外費用	1億 7,168万円	7,604万円	44.3
	第3項 特別損失	700万円	152万円	21.7
資本的収入	第1款 資本的収入	1億 2,967万円	4,987万円	38.5
	第1項 企業債	4,800万円	0	
	第2項 他会計負担金	8,167万円	4,987万円	61.1
	第3項 固定資産売却代金	—	0	
資本的支出	第1款 資本的支出	1億 2,967万円	4,018万円	31.0
	第1項 建設改良費	4,800万円	—	0.0
	第2項 企業債償還金	8,167万円	4,018万円	49.2

※5,000円未満は—で表示

別表(3)

企業債の状況

	発 行 額	償 還 額	未 償 還 残 高	備 考
建設改良費	2,900万円	1,882万円	1,018万円	大蔵省
改築事業	23億 280万円	1億 7,387万円	21億 2,893万円	〃
医療器械整備	1億 6,470万円	5,190万円	1億 1,280万円	〃
計	24億 9,650万円	2億 4,459万円	22億 5,191万円	

別表(5) 長期借入金明細書

前年度末残高	本年度中における借入残高最 高 額	62年9月末残高	備 考
5億5,000万円	5億5,000万円	5億5,000万円	借入先 大村市モーター ボート 競走事業

別表(4) 一時借入金明細書

前年度末残高	本年度中における借入残高最 高 額	62年9月末残高	備 考
3億8,000万円	3億8,000万円	1億3,000万円	借入先 郵 政 省

経 理 の 状 況

(昭和62年 9月30日)

		予 算 額	予算執行額	予算執行率(%)
資 本 的 収 入	第1款 資本的収入	2億 170万円	0	
	第1項 企 業 債	1億 1,410万円	0	
	第2項 補 助 金	8,750万円	0	
	第3項 他会計補助金	10万円	0	
資 支 本 的 出	第1款 資本的支出	2億 170万円	1億 3,180万円	65.3
	第1項 建設改良費	2億 170万円	1億 3,180万円	65.3

(1)事業の概要
取水工事としては、ポンプ運転のため
のポンプ制御盤設置工事、導水工事
として、導水管路舗装復旧工事、送水
工事として池田、坂口ポンプ場築造及
び附帯工事を施工しています。

工業用水道

一 時 借 入 金 明 細 書

前年末残高	本年中における借入残高最高額	昭和62年 9月30日 末残高	備 考
7,000万円	6,300万円	6,300万円	借入先 大村市モーターボート競走事業

企 業 債 の 状 況

	発行額	償 還 額	末償還額	残 高
大 蔵 省	9,960万円	0	9,960万円	9,960万円
公営企業金融公庫	1億 6,710万円	0	1億 6,710万円	1億 6,710万円
計	2億 6,670万円	0	2億 6,670万円	2億 6,670万円

(2)決算の状況

昭和61年度の決算の概要は次のとおりです。
資本的収入 4億90665万円
資本的支出 4億90388万円
差 引 27万円

水 道

(1)事業の概要

昭和62年度上半期は、国庫補助事業として長崎県と長崎市及び大村市の三者協同事業「葦瀬ダム再開発建設工事を中心とする、第9回拡張事業工事を実施しています。」

一方、一般事業においては、下水道工事に伴う水道管の移設工事と九州横断自動車道路建設工事に伴う水道管移設工事、漏水修繕工事を実施しています。また、80kmの漏水調査を行い漏水防止に努めています。

(2)経理の概要

上半期における経理の概要は次のとおりで、執行状況は別表(1)のとおりです。

収益的収入 4億8380万円
収益的支出 3億7066万円
差引 1億1314万円
資本的収入 7万円
資本的支出 4993万円

差引 △ 4986万円

(3)企業債の概要

本年度上半期に支払った企業債の元利償還金は次のとおりで、企業債の状況は別表(2)のとおりです。

企業債元金 2003万円
企業債利息 1億3611万円
合計 1億5614万円

(4)決算の概要

昭和61年度の決算の概要は次のとおりです。

収益的収入 10億5499万円
収益的支出 10億9855万円
差引 △ 4356万円
資本的収入 1億8929万円
資本的支出 3億8806万円
差引 △ 1億9877万円
資本的収入の不足額1億9877万円は過年度分損益勘定留保資金1億9166万円、減積積立金220万円、当年度分損益勘定留保資金491万円で補てんしました。

別表(1)

経 理 の 状 況

(昭和62年9月30日現在)

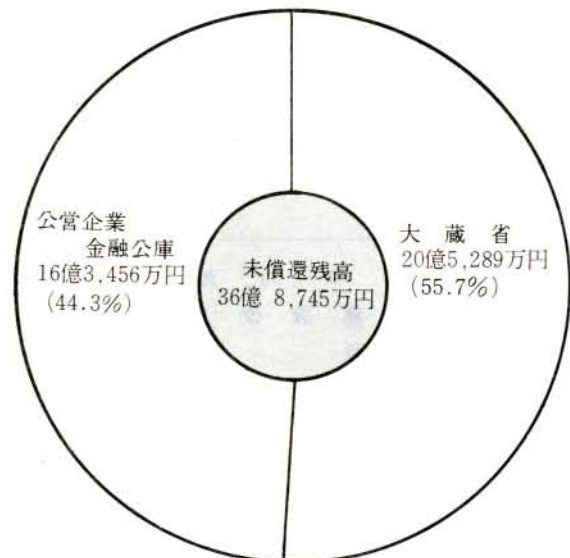
区 分		予 算 額	予 算 執 行 額	予 算 執 行 率 (%)
収 益 的 収 入	第1款 水道事業収益	10億 4,722万円	4億 8,380万円	46.2
	第1項 営業収益	10億 4,546万円	4億 8,254万円	46.2
	第2項 営業外収益	176万円	123万円	69.9
	第3項 特別利益		3万円	
収 益 的 支 出	第1款 水道事業費用	11億 5,899万円	3億 7,066万円	32.0
	第1項 営業費用	8億 8,021万円	2億 3,455万円	26.6
	第2項 営業外費用	2億 7,700万円	1億 3,611万円	49.1
	第3項 特別損失	78万円	—	0.0
	第4項 予備費	100万円	0	
資 本 的 収 入	第1款 資本的収入	3,958万円	7万円	0.2
	第1項 企業債	1,680万円	0	
	第2項 他会計負担金	190万円	0	
	第3項 出資金	1,097万円	0	
	第4項 補助金	991万円	0	
	第5項 工事負担金		0	
	第6項 固定資産売却代金		7万円	
	第7項 寄附金		0	
資 本 的 支 出	第1款 資本的支出	2億 5,818万円	4,993万円	19.3
	第1項 建設改良費	2億 1,662万円	2,990万円	13.8
	第2項 企業債償還金	4,056万円	2,003万円	49.4
	第3項 予備費	100万円	0	

※5,000円未満は—で表示



別表(2)

企 業 債 の 状 況 (借入先別)



モーターボート

(1) 事業の概要

今年度上半期の売上額は若干の上向き傾向で入場者は横ばい傾向にあります。

これは12レース制、競艇祭などの実施が挙げられます。

前期の売上額、入場者は前年同期に比べ、売上額は2・17%の増、入場者はほぼ同じとなっておりますが今後とも予断をゆるさない状況にあり各種集客対策を講じ、売上向上に努めたいと考えています。

(2) 経理の状況

別表(2)のとおりですが、昭和62年度予算の1日平均売上額は1億3600万円の見込みで計上しており一般会計へは9億円を繰出す予定です。

(3) 決算の状況

昭和61年度決算の概要は次のとおりです。

決算額

モーターボート競走事業収益

267億1400万円

モーターボート競走事業費用

252億2305万円

差引 14億9095万円

前年度繰越利益剰余金	11億2951万円
当年度未処分利益剰余金	26億2046万円
利益剰余金処分額	7500万円
利益積立金	13億8000万円
建設改良積立金	9億円
一般会計繰出金	22億8300万円
合計	9億円

別表(1) 売 上 げ 調 べ

月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高	月 度 別	売 上 高
1回(4月度)	23億 6,237万円	3回(6月度)	19億 5,158万円	5回(8月度)	22億 5,618万円
2回(5月度)	28億 8,170万円	4回(7月度)	19億 2,228万円	6回(9月度)	18億 5,369万円

別表(2) 経 理 の 状 況 (昭和62年9月30日現在)

区 分	予 算 現 額	予 算 執 行 額	予 算 執 行 率 (%)	
収益的収入	第1款モーターボート競走事業収益	255億4,198万円	138億1,929万円	54.1
	第1項 営業 収 益	253億8,041万円	137億3,986万円	54.1
	第2項 営 業 外 収 益	1億6,157円	7,943万円	49.2
	第3項 特 別 収 益	—	0	
収益的支出	第1款モーターボート競走事業費用	246億7,666万円	126億 ,464万円	51.1
	第1項 営 業 費 用	245億7,666万円	126億 ,464万円	51.3
	第2項 営 業 外 費 用	—	0	
	第3項 特 別 損 失	—	0	
資本的収入	第1項 予 備 費	1億円	0	
	第4款資本的収入	—	0	
資本的支出	第1項 固 定 資 産 売 却 代 金	—	0	
	第1款資本的支出	22億9,382万円	10億 757万円	43.9
	第1項 建 設 改 良 費	13億 ,882万円	1億 757万円	8.2
	第2項 投 資 資 金	7,500万円	0	
資本的支出	第3項 貸 付 金 費	9億円	9億円	100.0
	第4項 予 備 費	1,000万円	0	

※5,000円未満は—で表示